



リチウムイオン電池研究開発の最前線～基礎から応用まで～

日時：2022年11月21日(月) 13時00分～17時25分

形式：オンサイト・オンライン ハイブリッドセミナー

オンサイト会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館17階記念講堂 (Zoomによる同時配信を行います)

世界各国で内燃機関自動車の規制が進んでおり、日本でも2050年までに脱炭素社会と温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという「2050カーボンニュートラル宣言」を発表しました。その実現に向けて重要なのが、電気自動車の電源として利用されている、電気化学を基盤とした技術であるリチウムイオン電池です。本セミナーでは、リチウムイオン電池のさらなる進化を見据えた最先端の研究の取り組みについて、産学からの講演者に登壇いただきます。進化が止まらないリチウムイオン電池研究開発に興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

2022年11月21日(月)

(13:00～13:05)

◎開会の挨拶

(13:05～13:50)

1. リチウムイオン電池用電解液の開発と今後の展望

大阪大学 山田 裕貴

(13:50～14:35)

2. リチウムイオン電池用次世代正極材料～層状材料から岩塩型材料まで

横浜国立大学 藪内 直明

(14:35～14:50)

休憩

(14:50～15:35)

3. 電池のための交流インピーダンス解析の基礎から応用まで

豊田中央研究所 荻原 信宏

(15:35～16:20)

4. 持続可能な社会に向けたパナソニックの電池開発

パナソニック エナジー 株式会社 名倉 健祐

(16:20～16:35)

休憩

(16:35～17:20)

5. リチウムイオン電池の劣化特性評価と寿命予測モデルの構築

株式会社東芝 森田 朋和

(17:20～17:25)

◎閉会の挨拶

主催 電気化学会

協賛(予定)：応用物理学会、日本化学会、高分子学会、日本分析化学会、日本MR S、
日本材料学会、自動車技術会

